

会

報

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会

URL <http://ajgika.ne.jp/~kagoshima/>

あいさつ

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会

会長 瀧脇 広智

会報の発行に当たり、一言御挨拶を申し上げます。今年度、本研究会の会長を拝命して、早いもので1年が経過しようとしています。まずは、前会長・顧問をはじめ、これまで本研究会を支えてくださった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。本研究会は、私が平成元年に教職に就いて以来、授業実践や教科研究等でお世話になった歴史ある研究団体です。当時から研究会の先生方が中核となって、本県の技術・家庭科教育の発展と充実を目指し、教育現場での実践と研究を推進してこられました。技術・家庭科教育の基盤づくりから時代の流れに柔軟に対応した実践的・体験的な学習活動の在り方に関する研究の積み重ねがあったからこそ、現在の研究会があると思います。

さて、中央教育審議会は、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(R3.1.26)の答申において、全ての子どもたちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通じた、新たな学びの実現による学校教育の質を向上させることを求めています。学習指導要領では、急激な社会の変化に対応し、子供たち一人一人が、予測できない変化に主体的に向き合っていくこと、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となっていけるようにすることが重要であるとした上で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を重視しています。

本研究会では、研究主題に「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育」を掲げ、これまで取り組んできた問題解決的な学習の「6分節」に基づいた授業設計・授業実践に取り組み、「自ら課題を見付け、それを解決する力」を育成するために、他者と協働し、自ら考え抜く学びにつなぐなどの一定の成果をあげてきました。また、GIGAスクール構想により、1人1台端末や高速通信ネットワーク環境を生徒一人一人のニーズに応じた教育環境も積極的に取り入れています。持続可能な社会の実現に向けて、生徒が実践的な技術や家庭生活の知識を身に付けることは、非常に意義深いことです。令和8年度に開催する全国大会(鹿児島大会)では、授業の更なる質の向上を図り、本教科の目標を達成した生活を工夫し創造する資質・能力を備えた生徒の姿を見ていただきたい。今後とも、技術・家庭科を担当する先生方の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます、あいさつといたします。

第73回鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を終えて

鹿児島地区

1 はじめに

令和6年度の鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究大会を鹿児島地区で開催しました。令和8年度の全国大会(鹿児島大会)に向けて、更に研究を深めるべく、県大会は鹿児島地区が担当します。当日は、県内各地から多数の方々に参加していただき、心より感謝申し上げます。県教育委員会をはじめ、指導者の先生方には、研修会や研究授業等を通して、適切な御指導をいただくなど、継続した授業実践・研究を重ねることで、研究発表や研究授業につなげることができました。今大会で得られた成果と課題をもとに、全国大会につなげることができるよう、今後も研究を深めて参りたいと考えております。鹿児島地区の先生方をはじめ、他地区の先生方とお互いに学びを深める大会にすることができて感謝しています。

2 研究大会の内容

- (1) 日時 令和6年10月4日(金)

10:00~16:40

- (2) 会場 鹿児島市立武岡中学校

- (3) 研究授業

<技術分野>

授業者 教諭 川路 凌

授業内容:「D 情報の技術」

<家庭分野>

授業者 教諭 濱田 朋恵

授業内容:「B 衣食住の生活 食生活」

- (4) 研究発表

<全体発表>

鹿児島市立伊敷中学校 教諭 堀ノ内 将司

内容:「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育」

<技術分野>

鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 教諭 吉留 宏美

内容:「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育」
～エネルギー変換の授業で考えること～

<家庭分野>

指宿市立南指宿中学校 教諭 橋口 琉菜

内容:「学びを生かし合い、よりよい生活を工夫し創造する資質・能力を育む技術・家庭科教育」
～実践的・体験的な学習活動の充実を通じた、食生活を工夫し創造する資質・能力の育成～

研修会だより

<技術分野>

- 1 日時 令和6年8月9日（金）
- 2 会場 鹿児島市立武岡中学校
- 3 参加人数 10人
- 4 内容
授業づくりや指導案作成等の意見交換
- 5 参加者の感想
 - 授業時数が限られる中、これから生きる生徒たちにどんな授業を提供するべきなのか、考えさせられる時間となりました。目の前の生徒たちが育つ地域をよく知り、どんな題材でどんな教具で学習を進めるべきなのか、もう一度考えようと思いました。
 - 技術教員の先輩方の授業づくりへの考え方や指導案づくりを直接見聞させていただき、大変有意義な時間となりました。今後も極力参加していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

<家庭分野>

- 1 日時 令和6年8月6日（火）
- 2 会場 鹿児島大学教育学部附属中学校
- 3 参加人数 14人
- 4 内容
講義「パレスチナ刺繍と出会ってから・・・」
講師：刺繍家 壽福 ヤス子 先生
- 5 参加者の感想
 - 講師の先生のお話、お人柄も素敵でとても楽しく研修ができました。パレスチナ刺繍を初めて知り、初体験でしたがとても楽しかったです。有難うございました。
 - 午前の部のみの参加でしたが、講師の先生のお話や演習があり、とても充実した時間を過ごせました。演習では、パレスチナ刺繍を実際にさせていただきました。準備も大変だったと思います。作品が出来上がる喜びを体感できました。ありがとうございました。
 - 改めてものづくりは良いなと思いました。授業で子どもたちとできる時間があれば良いのですが、現実には難しいところです。でも自分の手で何か作ることの良さを感じられるような機会を、できるだけ設定したいです。今日は本当にありがとうございました。
 - 講師の先生のお話がとても良かった。青年海外協力隊の話やパレスチナのことが知ることができ、刺繍のこともよくわかった。生き様から学ぶところが多かった。作品が仕上がってとても嬉しかった。

総務部より

今年度は、第73回県研究大会鹿児島地区大会を鹿児島市立武岡中学校で開催しました。今年度から令和8年度全国大会に向けてコロナ禍以降、久しぶりの1日開催にすることができました。前日の準備から大会終了まで、会場校の武岡中学校の先生方、鹿児島地区の役員の先生方の御協力をいただき、盛会の内に終了することができました。御参加・御協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度も、鹿児島市内で1日開催を予定しております。令和7年6月の総会にて1次案内をお知らせする予定ですので、多くの方の御参加をお待ちしております。

第18回ものづくり競技大会を10月19日（土）にかごしま文化工芸村で開催しました。今回は、12名が出場し、3名の選手が久留米市で開催された木工チャレンジコンテスト九州大会（福岡大会）に出場しました。3名とも県代表として大健闘してくれました。結果は、優秀賞1名、優良賞2名でした。

第38回県中学校技術・家庭科作品展は、県大会会場に技術分野17点、家庭分野86点を展示いたしました。そのうち、技術分野、家庭分野それぞれ3点ずつを県の特選として選出し、九州大会、全国大会に出品しました。

令和8年度は、全日本中学校技術・家庭科研究大会を鹿児島で開催します。今後も県内の先生方の御理解・御協力を賜りますようよろしくお願いします。

お知らせ

県版学習ノートを多くの学校で採用していただいております。来年度のノートの案内を県HPに2月頃アップする予定です。そちらを参考にぜひ採用の検討をお願いいたします。

<問い合わせ・連絡先>

鹿児島県中学校技術・家庭科教育研究会
資料部長 小野原 雅啓

熊毛郡屋久島町安房2371番地67
屋久島町立安房中学校
TEL 0997-46-3262
FAX 0997-46-3743